福岡地区ニュース　2024. 1　No.2

会員におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く 御礼申し上げます。今回の地区ニュースは、2023 年 10 月 3，4 日に行われた「福岡地区新入会員研修会（当直業務支援講座）」の報告 をお届け致します。福岡地区だけでなく多数の参加ありがとうございました。

2023 年度福岡地区新入会員研修会（当直業務支援講座）

日時：令和 5 年 10 月 3 日、4 日 18 時 30 分
会場：Web 開催

内　容：　1）為になる！当直業務支援講座（6 部門）
一般、血液、輸血、生化学、微生物、生理
2）学術部門紹介（3 部門）
病理細胞、遺伝子染色体、総合管理

研修会参加：75 名

参加された新入会員の中から、3 名の方に感想文を書いていただきましたのでご紹介致します。（施設番号順掲載）

藤井椋介技師（公立学校共済組合　九州中央病院）

この度 10 月 3 日、4 日に開催された 2023 年度福岡地区新入会員研修会及び、当直業務支援講座に参加させて頂きました。2 日間に分けオンラインにより当直業務での注意点などの講義をして頂き当直業務において必要な知識や考えなどを学ばせて頂きました。また、各部門での活動も知る良い機会となりました。

当直業務支援講座では、生物化学分析、臨床一般、輸血細胞治療、臨床微生物、臨床血液、臨床生理の 6 部門で講義をして頂きました。

現在、私は生理検査部門に配属されていますが、当直業務中は検体検査業務も 1 人で行わなければなりません。その際、しっかりとした判断を行うために、知識を持ち、的確な対応ができることが必要であると改めて感じました。

実際、講義中のお話にあったようにまずは焦らずに対応していきたいと思います。次に、検体に異常がないか、データに整合性があるかなど、正しい結果を返すために必要なプロセスや検査を行う時の注意点など、業務にあたるに対し、基本的な知識をしっかりと自分の中でまとめておき、常に冷静に判断ができるようにしておくことが大事であると学びました。

当直業務に携わり実際に１人で検査を行うことで、まだまだ不慣れな点を実感し、不明な点は先輩の技師の方に相談させて頂いています。今回の講義でお話して頂いた事や講師の方々の経験によるワンポイントアドバイスなどを自分の業務に活かせるように努めて参りたいと思います。

最後になりますが、今回新入会員研修会を開催して頂きありがとうございました。今後も、研修会、勉強会に参加し様々な知識を得て日々の業務に活かしていけるように頑張って参ります。

橋本　杏花技師（株式会社シー・アール・シー）

この度、福岡地区新人研修会を開催していただきありがとうございます。10 月 3 日・4 日に亘り、病理・臨床検査総合・遺伝子の部門紹介、また生物化学・一般・輸血・微生物・血液・生理の各部門の業務内容や当直について講義していただきました。

私自身、当直に対して「一人で全てができないといけない」と不安や恐怖心がありました。ですが分からないことがあれば誰かに頼り、まずは現場での業務に慣れ、多くを経験する事が大事だと気付くことができました。

特に鏡検や手技では、熟練者とで検査結果に誤差が生じることがある為、技師の知識や技量が欠かせないと感じました。私は、一般検査・血液検査の業務に携わっており、この鏡検や手技が深く関わります。一般検査では正確な手技を心掛け、検体の性状や細胞形態のポイントを押さえる。血液検査では検査値や鏡検だけでなく検体も確認し、依頼項目以外にも目を向け検査データを読む力をつけることが必要だと学びました。

また、当直支講座で最も印象に残っているのは一般検査で提示していただいた尿定性の症例についてです。症例の検査値からどう考えるかという質問に私はすぐに答えを出すことができませんでした。しかし、当直を担当された技師の方はこの検査値に違和感を覚え再度検体を取り直しを依頼しました。その結果、初検と異なる検査データとなり正しい結果を報告されたことに感銘を受けました。この「違和感」に気づき「行動」に移す大切さは大変勉強になりました。この時私は、しっかりとした基準値が覚えられていない事に気づかされました。今後、このような小さな違和感に気づく為にも再度基準値の見直しを行い自信を持って行動できるようにしたいと思います。

今回、研修会を通し自身の欠点や改善点を見つけることができました。講義で学んだ事を日々の業務でも意識し、検査値に気を付けていきたいと思います。また、自身の担当する検査部門以外の業務内容も理解し、何事にも対応できるよう知識や技量を高め精進していきます。

中西　瑞稀技師（医療法人青洲会　福岡青洲会病院）

この度、令和 5 年 10 月 3 日、4 日に開催された福臨技福岡地区新人会員研修会に参加させていただきました。今回の研修会では一般、生化学、輸血、血液、微生物、生理の 6

つの部門の当直支援講座と病理細胞、遺伝子染色体、総合管理の部門紹介が行われました。

私は主に検体検査の業務を行っているので、検体検査において正しい検査結果を臨床へ報告するために、異常値が出た時の対応や考えられる原因などを教えていただき勉強になりました。検査結果から患者様の状態を知るためには適切な検体を提出してもらうことが重要であるし、その上で検体が適切でなかった場合の対応も知っておかなければなりません。講義を聞いて検体採取のポイントや検体異常の原因とその対処法を改めて整理することができたので実際に起きた時も 1 人で焦らずに対応できるよう時間外に限らず様々なトラブル対応を積極的に行いたいと思います。また、時間外の生理検査の習得を行っているタイミングでの今回の当直支援講座であったので心電図の講義は大変ためになりました。心電図を判読する上で正しく記録されていることがとても重要であることが分かりました。緊急時の検査であっても焦らずに記録し判読することや医師が求めている情報は何なのかを意識して検査を行うようにしたいです。

今回の研修会では勉強になったこと、復習できたことがあり自分の理解、技術が足りない部分を見直す機会になりました。時間外は複数の検査を 1 人で行わなければなりませんが、その状況の中で優先順位を決めて検査を行うためには緊急性が高い低いというのを自分で判断できるようにそれぞれの検査項目を理解している必要があると感じました。患者様の主訴からどの検査が出されるか、どんな検査結果が出るか予想できるようになればスムーズに検査を行うことができると思うのでそれぞれの検査について関連性を考えながら知識を身につけていきたいです。また、1 人ではどうしようもない、わからない時は素直に先輩、周りの人を頼ることも大事だということが分かりました。患者様のためにも分からないことを分からないままにせず調べたり先輩に聞いたりして知識を身につけていきたいです。

最後になりますが今回の福岡地区新人研修会を開催していただきありがとうございました。それぞれの部門で勉強会の開催案内があり、自施設以外でも学ぶ機会が身近に多くあることを知れました。私は自分自身がどの分野について専門的に知識を身につけたいのかまだ明確なものは持てていませんがこのような研修会や勉強会に参加することで新しい知識を得ることができ、さらに深めることができていると実感しております。これからも積極的に参加することで日々の業務に活かし、自身の知識、興味を広げることができれば良いなと思います。

発行責任者 福岡県臨床衛生検査技師会福岡地区/福岡地区長　新田　誠